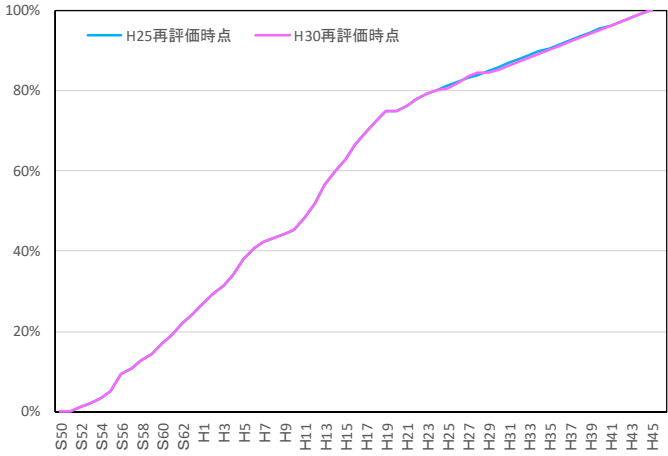


平成30年度再評価対象事業
(対象：平成25年度再評価実施事業)

(再評価実施後、一定期間(5年)が経過した時点で継続中の事業又は未着工の事業)

番号	項目	事業名 (路・河川名等)	事業目的	事業概要	事業の進捗状況	事業を巡る社会経済情勢等の変化	費用対効果の要因の変化	CO2削減や代替案等の可能性	再評価理由	対応方針 (事業課案)
	再評価 時点 H25	切通川 河川整備交付金 事業(広域河川 改修事業)	流路是正、狭窄部解消を行い、治水安全度を向上し、流域の浸水被害の軽減を図る。 計画流量 190m ³ /s 計画治水安全度 1/50	全体事業費：C=130億円 工期：S50～H35 改修延長：L=11,200m 計画流量：190m ³ /s 計画治水安全度：1/50 事業内容：掘削・築堤 護岸、樋管46基、橋梁 14基、堰8基	用地買収については、 上流部を残しほぼ完了 している。 下流部の改修は概成 し、中流部の改修促進 を図っているところ である。 橋梁10橋、堰2基完成 (H24末進捗率 80%) (年平均進捗率 2.1%)	(過去の災害実績) H2.7 浸水戸数 127戸 農地浸水面積 270ha (地域の状況) S54以降、下流から上流にかけ て圃場整備が行われ、H8に完了 している。	最新のマニュアルに基づき、費用 対効果(B/C)を 算出した。 (B/C) = 5.7	・再生材の積極的 利用 ・発生残土を他事 業(道路整備、 河川改修)に有 効利用 ・堰改築につい ては、統廃合の可 能性について地 元と調整してい る。	再評価実施後 5 年経過	継続
	現時点 H30	切通川 河川整備交付金 事業(広域河川 改修事業)	流路是正、狭窄部解消を行い、治水安全度を向上し、流域の浸水被害の軽減を図る。 計画流量 190m ³ /s 計画治水安全度 1/50	全体事業費：C=130億円 工期：S50～H45 改修延長：L=11,200m 計画流量：190m ³ /s 計画治水安全度：1/50 事業内容：掘削・築堤 護岸、樋管46基、橋梁 14基、堰8基	用地買収については、 上流部を残しほぼ完了 している。 下流部及び中流部の改 修は暫定計画断面で概 成し、上流部の改修促 進を図っているところ である。 橋梁10橋、堰3基完成 (H29末進捗率 85%) (年平均進捗率 2.0%)	(過去の災害実績) 同上 (地域の状況) 特になし	最新のマニュアルに基づき、費用 対効果(B/C)を 算出した。 (B/C) = 8.0	・再生材の積極的 利用 ・発生残土を他事 業(道路整備、 河川改修)に有 効利用 ・堰改築につい ては、統廃合の可 能性について地 元と調整してい く。	再評価実施後 5 年経過	昭和47年、平成 2年等の洪水被 害を軽減する ため、流路是 正、狭窄部解消 を行い、治水安 全度を向上し、 地域住民の安 心・安全を確保 するためには、 当事業の継続 が必要である。
	理由等			堰の統廃合の可能性に ついて地元との調整に 時間を要したこと、また 今後も要することによ る工期の延長		<p>前回再評価時と 比較し、資産数量 (世帯数)及び家 屋評価単価の増 加によりBが増大 し、費用対効果 (B/C)の増となっ た。</p>				